

『恒久救済』誌

第93号 (2019.3.1)	●「被害者実態把握調査2017」の結果報告
第92号 (2017.3.1)	●2016年度疫学研究報告 ●ウイルス性肝炎対策のまとめ (本誌の内容は、当ホームページの「調査研究事業等」で全文を掲載しています)
第91号 (2014.3.20)	●「40歳以降の被害者救済事業のあり方」金銭支給・貸付・助成の基準
第90号 (2012.1.1)	●「第24回救済事業研究集会」特集号
第89号 (2010.1.1)	●「『14年目の訪問』40周年記念の集い」特集号
第88号 (2007.6.1)	●疫学調査研究結果特集号 (本誌の内容は、当ホームページの「調査研究事業等」で全文を掲載しています)
第87号 (2001.8.1)	●救済事業協力員活動について
第86号 (2000.12.1)	●第116回理事会決定文書 ●第23回救済事業研究集会基調報告
第85号 (2000.5.1)	●「健康と生活」実態把握事業の見直し
第84号 (2000.1.1)	●第22回救済事業研究集会
第83号 (1999.4.1)	●事務局体制の改革構想具体化ーブロック制実施要綱
第82号 (1999.1.1)	●第21回救済事業研究集会 ●ブロック制移行に向けて

第81号 (1998.10.1)	●健康懇とフォローアップ特集
第80号 (1998.7.1)	●国の成年後見制度改正にあたってのひかり協会の取組み ●「健康と生活」第4次実態把握
第79号 (1998.4.1)	●機構等検討問題特集
第78号 (1998.1.1)	●第20回救済事業研究集会
第77号 (1997.10.1)	●組織強化5カ年計画の総括と組織整備5ヵ年計画 ●現地2者懇談会を軸にした取組み
第76号 (1997.7.1)	●障害のある被害者の現状
第75号 (1997.4.1)	●あり方移行を図る最終年度 ●森永ひ素ミルク飲用者にみられた精神障害者に関する調査研究（その2）
第74号 (1997.1.1)	●第19回救済事業研究集会特集
第73号 (1996.10.1)	●歯科保健特集
第72号 (1996.7.1)	●協力員活動特集
第71号 (1996.4.1)	●第23期事業計画
第70号 (1996.1.1)	●第18回救済事業研究集会特集
第69号 (1995.10.1)	●「あり方」の円滑な移行における当面の課題について

第68号 (1995.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●森永ひ素ミルク中毒症と健康 ●加齢と健康づくりについて ●成人病とその対策について
第67号 (1995.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳以降の被害者救済事業のあり方」 ●あり方にもとづく金銭支給・貸付・助成の基準
第66号 (1995.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●第17回救済事業研究集会特集
第65号 (1994.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳以降の被害者救済事業のあり方」(案)の理解を深める為に
第64号 (1994.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳以降の被害者救済事業のあり方」(案)解説と資料
第63号 (1994.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳以降のあり方」の基本的確認事項の理解を深める為に ●「健康と生活」第3次調査結果について
第62号 (1994.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳代を迎えた被害者の健康問題に関するシンポジウム」特集
第61号 (1993.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●続「40歳以降の被害者救済事業のあり方」検討特集
第60号 (1993.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「40歳以降の被害者救済事業のあり方」検討特集
第59号 (1993.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●40歳以降の被害者救済事業のあり方の検討 ●第20期事業計画
第58号 (1993.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●第15回救済事業研究集会特集
第57号 (1992.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●厚生省通達と行政協力特集

第56号 (1992.7.1)	●「三者会談方式」の学習運動特集
第55号 (1992.4.1)	●最終年度を迎えた年次計画の重点課題 ●検診結果の分析と健康管理上の課題 ●「後見的援助者」について
第54号 (1992.1.1)	●第14回救済事業研究集会特集
第53号 (1991.10.1)	●「親なきあと」に向けての現状と課題
第52号 (1991.7.1)	●守る会運動の歴史から「三者会談方式」を学ぶ
第51号 (1991.4.1)	●「親なきあと」に向けてとるべき対策とそのすすめ方 ●第18期事業計画書
第50号 (1991.1.1)	●第13回救済事業研究集会特集
第49号 (1990.10.1)	●第10回全国被害者交流会特集
第48号 (1990.7.1)	●森永ひ素ミルク飲用者にみられた精神障害者に関する調査研究 ●第2回地連協のまとめと今後の課題
第47号 (1990.4.1)	●「健康と生活」実態把握第二次調査結果について ●ひ素ミルク中毒被害者の歯科保健に関する研究
第46号 (1990.1.1)	●救済事業の充実・発展をめざして意見、レポート、まとめ
第45号 (1989.10.1)	●第9回全国被害者交流会特集

第44号 (1989.7.1)	●地域での生活をめざす共同ホームの現状ととりくみ
第43号 (1989.4.1)	●運営と体制の見直しについて ●森永事件にみる被害者救済運動のあり方
第42号 (1989.1.1)	●第11回救済事業研究集会特集
第41号 (1988.10.1)	●第8回全国被害者交流特集
第40号 (1988.7.1)	●新たな年次計画をとりくむにあたって ●協力員活動の現状と、今後の改善・強化に向けて
第39号 (1988.4.1)	●被害者の健康問題と検診票の見方 ●健康と食生活
第38号 (1988.1.1)	●第10回救済事業研究集会特集
第37号 (1987.10.1)	●行政協力についての守る会の役割について ●「あり方」にもとづく公的制度等の活用の促進について ●B型肝炎について
第36号 (1987.7.1)	●後見と相続と遺言の話 ●ヨーロッパ障害者教育の周辺
第35号 (1987.4.1)	●第9回相談指導事業研究集会特集
第34号 (1987.1.1)	●被害者の就業保障の実現に向けて ●労働省通達にもとづく行政協力の進展状況 ●ノルウェーの保健医療体制に学ぶ
第33号 (1986.10.1)	●発達遅延者の健康・発達・自立に関する研究 ●訪問指導の果たすべき役割と内容 ●障害を持つ被害者の将来設計について

第32号 (1986.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「あり方」にもとづく年次計画の意義と重要性について ●実態調査の意義・目的と今後の取り組みの充実について ●将来設計を確立する年次計画の作成について
第31号 (1986.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●第8回相談指導事業研究集会特集
第30号 (1986.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「30歳代を迎えて被害者救済事業のあり方」問題特集号
第29号 (1985.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●検討案を深めていくための健康医療のこと ●評議員会の問題を中心とした協会運営のあり方について
第28号 (1985.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●被害者の将来設計を考える ●救済事業の10年と、守る会運動
第27号 (1985.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「被害者救済事業のあり方」常任理事会案の提起にあたって
第26号 (1985.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「30歳代を迎えて被害者救済事業のあり方」（案）の提起にあたって ●第七回相研集会 分科会のまとめ
第25号 (1984.10.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●30歳代の被害者救済事業のあり方検討 ●ひ素ミルク中毒被災者の青年後期における皮膚症状について
第24号 (1984.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の救済事業あり方検討にあたって 一和歌山における10年間の事業実践を踏まえて
第23号 (1984.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●協会・太陽の会座談会—ひかり協会の救済事業の発展方向について
第22号 (1984.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●協会・守る会座談会—今後の救済事業のあり方について
第21号 (1983.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●被害者の全体像を基礎とする救済事業の改善 ●自立をめざす被害者とその援助活動

第20号 (1983.7.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●心身障害者の雇用の現状と今後の課題 ●障害者雇用の現状と展望—共同作業所からの発展方向
第19号 (1983.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●障害を持つ被害者の自立に向けての課題の設定と働きかけ ●健康相談をすすめる医学的基礎 ●精神障害の治療と働きかけの基本
第18号 (1983.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●重症者の発達保障について
第17号 (1982.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●「27年目を迎えて、森永ひ素ミルク中毒事件を考えるシンポジウム」特集
第16号 (1982.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●身体障害者の結婚をめぐる諸問題について ●障害に負けず結婚した被害者の豊かな家庭生活を切り開くために
第15号 (1982.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●被害者救済・障害者問題解決の基本方向 ●ケースワーク論—その理論と技術 ●障害者福祉施設の利用について
第14号 (1982.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●障害を軽減・克服し、より豊かな生活と、より豊かな自立をめざして—協会教育事業7年間の実践 ●近畿合同合宿集団活動のまとめ
第13号 (1981.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●相談福祉と社会福祉 ●相談指導事業の到達点と今後の課題
第12号 (1981.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●病気の予防と健康管理 ●健康管理に関する事業の現状と昭和56年度の課題
第11号 (1981.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際障害者年とわが国の障害者対策 ●国際障害者年と障害運動
第10号 (1981.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●医療問題特集号
第9号 (1980.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●施設入所者の家族懇談会 ●障害児者施設の問題と親

第8号 (1980.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●座談会・協会事業6年間の歩みと今後の課題 ●目で見ると協会事業紹介 ●実践を通じての専門家の意見
第7号 (1980.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●救済事業と行政協力について ●障害者問題と行政
第6号 (1980.1.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●協会事業の特長を生かした相談指導活動 ●ケースワークの技術と実務
第5号 (1979.10.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●就労をめぐる問題と当面する課題 ●現地事務所の実践に学ぶ
第4号 (1979.7.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●救済事業としての教育の発展方向について
第3号 (1979.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●救済事業と相談指導活動 ●森永ミルク中毒被害者をめぐる医学的諸問題と相談指導
第2号 (1978.12.19)	<ul style="list-style-type: none"> ●救済事業のあり方について ●現地事務所の実践に学ぶ ●第一回教研集会を終えて学ぶこと
創刊号 (1978.8.1)	<ul style="list-style-type: none"> ●協会設立の経過と救済事業のあり方 一守る会運動の中心課題として一 ●実践報告